

## 令和8年度地域活動支援事業審査会 概要

日時:令和8年3月 15 日(日)

場所:ゆめぼりすセンター2階大会議室

【開会】(午後1時 15 分)

- ・藪中地域連携部長 挨拶
- ・倉田委員長 挨拶
- ・日程説明

【提案発表】(午後 1 時 25 分)

団体名	事業の名称	部門
大山田地域つながり強化プロジェクト	大山田地域つながり強化プロジェクト	基礎支援
ななーるカフェプロジェクト	ななーるカフェ ACP 普及プロジェクト ～望む最期を語り合える地域～	基礎支援
カルチャーボランティアガイド いがうえの語り部の会	伊賀の歴史・文化の魅力を伝える 新規案内コースの開拓事業	基礎支援
特定非営利活動法人 絆	世界に羽ばたく未来子供食堂活動	基礎支援
布引の里ファーム	「布引の里」保全事業	基礎支援
伊賀市国際交流協会	国籍を超えた地域交流事業 (やさしい日本語でつながろう！)	協働促進支援
NPO 法人 伊賀の伝丸	国籍を超えた地域交流支援事業	協働促進支援

【審査結果発表】(午後4時 10 分)

【倉田委員長講評】(午後4時 15 分)

結果発表のとおり、皆様を市長へ推薦させていただきます。継続して活動を進めていただければと思います。私からはそれぞれ各団体に対しての講評と今後のエールをさせていただきます。

まず、「大山田地域つながり強化プロジェクト」について、実際に今も大山田で訪問介護しているなか課題に対する提案をいただきました。一方で、新しいプロジェクトのため、どうできるかわからない部分もあるとお話もありましたけども、今後は3年間の内容ですので、4年目5年目というところで継続できるような体制を構築していただくことで、自立し

た内容を進めていただければなというふうに思いました。

「なな一るカフェプロジェクト」について、同じく大山田の中山間地域で行っていて高齢化等を抱えており、実際地元の方と話をするなかで課題を見つけられたと思います。こちらもなかなか継続していくと難しい部分もあるかと思いますが、同じく進めていきたいと思っています。

「カルチャーボランティアガイドいがうえの語り部の会」について、2年目の事業ですがプレゼンの中でも、この1年目に実際に動かしてみたところの課題や成果といった発見もたくさんあったというふうに思います。次年度はそのような内容も含めて継続的に進めていけるような内容を検討していただきたいと思っています。

「特定非営利活動法人絆」では、外国籍の方も含めた交流の場としての子供食堂の説明がありました。後ほどお話しする伊賀市で活動している多くの交流団体での取り組みを参考にしながら、できるところについて検討していただければ、いい内容になると思います。

「布引の里ファーム」では、ぶどう山椒を活かした中山間地域の活動を説明いただきました。実際、木が成長するのに4年かかるというお話でしたけども、4年後以降に山椒を買い取っていただけるようなシステムもあると説明されていたので、その後の地域への効果となるか考えていただければなと思いました。

続いて、「伊賀市国際交流協会」「NPO法人伊賀の伝丸」の2団体は、協働促進支援の取り組みということで、昨年度もどのような取り組みなのかを聞かせていただきました。両団体の共通するところは、国際交流ということですね。連携をしている市役所と調整しながら、うまく役割分担をされている部分があったと思っています。是非とも継続した活動を進めていただきたいと思っています。

今回、7組の提案説明をしていただきました。昨年度も少しお話をしたんですが、それぞれの団体で、同じ志のもとで進めている内容はすごくたくさんあったと思います。是非とも今回スタートというふうに思っていて、そして継続的に進めていただきたいなと思っています。

皆さんも活動を進めていながら、3年間で実際に自立していくのはなかなか難しい部分があるかと思っています。最初の1年目として、2年目はその課題を含めて今後の取り組みということが出来るか考えると、そして3年目になると逆に次は自立を考えなきゃいけないということで実は短い3年間になってしまいます。是非とも皆さんの取り組みを今回スタートしていただき連携をさせていながら、皆さんに自立して進めていただきたいと思いません。

私は以上とさせていただきます。ありがとうございました。